

令和5年度 学生FD CHAmmit 学部提案書に基づく学生への回答書

【理工学部】

1 学生との協議の場について

実施日	実施内容
令和6年1月17日	CHAmmit参加者（教職員含む）及び学生スタッフ、FD委員会委員、事務職員の計15名がZoomを使用し、学部提案書について1時間程度、実現に向けて意見交換を行い、FD委員会で検討しました。

2 理工学部から学生へのメッセージ

第11回目となる令和5年度においては、4年ぶりに完全対面方式で実施され、理工学部からは14学科の学生と教職員の合計20名の皆様にご参加いただき、理工学部で学ぶ意義や理想の学部にするための提案をいただきました。ご参加いただきました学生と教職員の皆様には、この場を借りて御礼申し上げます。今年度の提案については、「対応済」が7件、「対応中」が1件、「検討中」が1件となりました。「対応済」は、理工学部ではすでに取り組んでいることや対応していることが多く、学生の皆さんへの周知方法などの改善を図って参ります。また、「対応中」・「検討中」はカリキュラム・施設・設備の関係上、すぐには解決できないものもありますが、関係部署が連携し、より良い教育環境づくりに努めます。

今後も理工学部では、14学科の特色を活かし、各学科での取り組みや実例などを共有し、教育の質や改善について検討を重ね、理工学部の教育の質の向上と教育環境の充実に努めて参ります。

3 学部提案書の対応について

「理想の学部」にするための提案について

項目	対応済	対応中	検討中	対応内容
シラバスなどで卒業後に取得できる資格を明記してほしい。また授業内で取得できる資格をアナウンスしてほしい。	○			学部要覧に各学科で取得・受験可能な主な資格の一覧を掲載しています。また、学科によっては、取得する可能な資格やキャリアのモデルケースなども授業やガイダンスで紹介しています。取得・受験資格を有するために複数科目の修得が条件になることから、一科目ごとのシラバスに全てを明記することはできません。今後、各学科では、取得・受験可能な主な資格以外の情報についても、適宜お知らせできるようにいたします。
資格を持っている方を呼ぶなど、実務に近い授業を学年が早い段階で行ってほしい。	○			実務経験がある教員による授業科目は、「理工学部シラバス」に各学科ごとに一覧を掲載しています。また、多くの学科で1年次から、学科に関連する分野で働く有資格者や実務経験者を招き、資格の必要性、体験談及び最新技術などの紹介を行っています。
セミナーに参加することで単位認定につながる授業を行ってほしい。			○	以前は、技術展に参加し、作成したレポートを成績評価の一部とする授業科目がありましたが、現在のカリキュラムでは、そのような科目を設置していません。今後、カリキュラム変更の際には、フィールドワークの一つとして、セミナーなどに参加する科目の設置を検討します。
GPAをGPにして、より多くの授業を履修する人を評価できるようにしてほしい。	○			理工学部では、国際的な成績評価制度のGPA制度を導入し、特待生・奨学生の選出などにも平均点やGPAを用いています。所属学科への学生成績開示には、GPA及びGPも提供しており、学科によっては、研究室配属を決定する際などにGPAだけでなくGPも考慮しています。
授業内でイベントの告知をしたり早い段階からゼミ・研究室の紹介をしてほしい。	○			1年次に教員紹介も兼ねて、所属学科の全ての研究室の紹介を行い、2年次後学期には所属する研究室の検討や研究室訪問についても周知している学科もあります。また、3年生からゼミに配属される学科では、2年次末頃に卒業研究発表会に必ず参加するように案内している学科や大学院研究科の授業等で外部講師や専門分野の有識者等の講演などを実施し、希望の学部生も聴講可能としている学科もあります。低年次での研究室・ゼミ・講演などの紹介は、各学科間で実例などを情報共有し、学生へ発信しております。

令和5年度 学生FD CHAmmiT 学部提案書に基づく学生への回答書

【理工学部】

項目	対応済	対応中	検討中	対応内容
エアコンの温度を自由に設定できるようにしてほしい。	○			教室により、個別に温度を設定できるようになっている教室も多いですが、駿河台校舎のタワー・スコラなどは、建物の設計上、集中管理となっており、エアコンの温度を自由に設定することはできません。 所管部署では、教室等の温度を監視し、学生が過ごしやすいよう調整しております。
コンセントを利用できるフリースペースを設けてほしい。		○		コンセントについては、建物・設備の関係上、すぐに増設することは難しいですが、関係部署と連携し、対応方法を検討しています。 理工学部では、パソコンを利用する授業も多いため、パソコンの充電等も可能なバッテリーのレンタルや充電等の利用スペースとして、教室を開放するなど検討しております。
1時限目は選択科目の授業とし、必修科目は2時限目以降に配置してほしい。	○			理工学部では、教育上の観点から、1時限目から大学に登校し、学修することが望ましいと考えています。2時限目以降に、必修科目を集中的に配置する時間割を組むことはしていません。
授業やテストのフィードバックをしてほしい。	○			理工学部では、理解度確認期間中における平常試験や定期試験を実施した科目は、原則として試験後にその解説などフィードバックをしています。 試験後にその解説などを行っていない科目については、関係部署から授業内での解説やLMSなどを活用し情報提供するなど、試験等のフィードバックを説明するように促しています。

※令和6年4月1日現在の対応内容となっており、今後の状況によって変更する可能性があります。